

伊方町議会第69回定例会に係る一般質問通告内容

質問者	質問の大綱	質問の相手
加藤 智明 議員	1 高齢者への生活支援サービスと介護難民、介護従事者の確保について	町 長
質問の要旨		
<p>伊方町の高齢化率は令和3年度の時点で約48%となっており、県内でもトップクラスの高齢化率となっています。</p> <p>もちろん、伊方町だけの問題ではなく、日本全域において、今後、更に高齢化が加速し、介護のニーズが増加することが見込まれる一方で、2040年に向けて現役世代人口が急減し、介護人材の確保が更に困難になることが見込まれています。</p> <p>日本全国で高齢化が進んでいる中で、介護難民等を初め、老々介護、認々介護等の介護問題が浮上し、国も対策を取り始めておりますが、間に合っていないというのが現状ではないでしょうか。</p> <p>町民の方からも、「もっと施設や介護ヘルパーさん等を増やしてサービスを充実させてほしい、なぜ増やさない、町外の施設に行くよりは地元に残りたい」といった言葉や、買い物やゴミ出しといった、重い荷物を運ぶことに困っているから生活支援サービスを増やしてほしいといった声をよく耳にします。</p> <p>伊方町特有の合力も、年々、しにくい状況になってきております。</p> <p>伊方町としても状況の把握、対策はしていると思っておりますが、3点お尋ねします。</p> <p>1点目に、高齢者の一人暮らしや、老々介護、認々介護といった在宅介護が必要な高齢者にどういった生活支援サービスが行われているのか。</p> <p>2点目に、伊方町内において、介護施設待機者はどれくらいの方がおられるのか、今後どの程度まで増えると想定されているのか。</p> <p>3点目に、介護従事者不足だと聞いておりますが、今現在の状況と、今後の対策についてお尋ねします。</p>		